

令和4年度第2回白井市まち・ひと・しごと創生審議会

議事概要

日時：令和5年3月14日（火）午後2時から4時

場所：白井市役所東庁舎3階会議室302・303

出席者：【委員】

高尾 公矢会長、山田 壽一副会長、伊藤 治委員、齊藤 重光委員
染谷 敏夫委員、中村 泰章委員、大野 哲生委員、
河野 はるか委員、古作 優一委員

【事務局】

企画政策課 池内課長、武藤係長、高橋主任主事、中村主事補

1. 開会

2. 委嘱状交付式

(1) 委嘱状交付

まち・ひと・しごと創生審議会委員へ笠井市長から委嘱状を交付した。

(任期：令和5年3月14日～令和8年3月13日)

(2) 市長挨拶

【市長】

皆さん、こんにちは。今回、委嘱をさせていただきまして、ありがとうございます。今回、また新たな計画をつくるに当たって、皆さんと御意見等確認をさせていただきたいと思います。

まず初めに、今日初回ということで、私から見た白井市の現状と今後どうなっていくかについて、お話をさせていただきたいと思います。細かいことは今日の資料でいろいろ載っていますから、私なりの分析した状況について、お話をさせていただきたいと思います。

白井市の今の人口が6万2,800弱であります。これは平成30年がピークでありました。このときの人口が6万3,700何人かいましたので、この5年間で10,000人近くの人口減少に至っています。これを分析しますと、もともとの出生数が毎年少ないということが言えます。これは、国においても同様です。毎年生まれる子供の数が今300人ちょっと超えたぐらいで、高齢化に伴って、亡くなる方が600人ぐらいいますので、この辺が白井市の人口を減らしている大きな要因だと思います。

転入・転出を見ますと、令和4年に限っては、転入者のほうが多い状況にあります。これは細かい分析はしていないのですが、恐らく北総線が10月で料金が下がったことによっ

て、ある程度転入者が増えてきたのだらうなと思っています。また、西白井駅のマンションもできまして、そこに入る方が増えてきている状況にあります。

日本全体を調べてみますと、2008年、これが日本の人口のピークです。1億2,800万人がピークで、今現在が1億2,500万人ですから、もう日本全体では、15年前から減少社会に陥っているという状況です。そういう中で、白井市は5年ぐらい前から、少しずつ人口が減ってきたのかなというところであります。

県内で人口が増えているところを見てみますと、印西市が人口が増えています。これは5年間で約1,000人の方が増えました。1年間当たり2,000人の方が増えている状況です。これは御存じのとおり、出生数も増えていますし、若い人たちが印西市に住んでいると。

印西市の状況を見ますと、物流・電算関係の企業がたくさん来ていて、そこに関係してくるのもあるのかなと思います。あと、言われているのは、成田方面から印西に住む方が多いという状況です。

あと、増えているのは、流山市が子供たちが数が多くなっているのので、人口が増えている。

白井市と流山市と印西市を比べてみますと、一番の違いは、行政面積が印西市は白井市の約4倍ございます。これは1市2村で合併した結果だと思えます。流山市も、白井市よりは行政面積が大きいと、こういうような要因があります。

これから白井市はどうなるかということで、自分なりに考えているのは、明るい材料もたくさんあります。

一つは、先ほど言いました北総線が運賃が下がったこと。そして、北千葉道路とインターの開通が、あと何年ぐらいでできるのだらうという見通しがあること。さらに、成田空港の第3滑走路の拡張がこれから進むのではないかと。こういうような恩恵を受けますと、まずはこの市にも、仕事を増やしたり人口を増やす要因がたくさんあるということだと思います。私はこれを契機にして、このまちをさらに発展をしていきたいと思っています。

ただ、既存の工業団地。ここに事務局長もいますけれども、内陸の工業団地にも立派なものがございます。約300社で7,500人の方が仕事に従事していますので、この辺の充実も含めて、新しい仕事を呼び込む。そしてその結果、人口を増やすことが、このまちのこれからの生きる道ではないかなと思っています。

ただ、先ほども言いましたように、日本全体が人口減少になっていますから、その中でいかに人口をこの白井に呼び込むか、奪い合いなのか。こういうような、これからの競り合いが始まるのではないかと。

そういう中で、この白井が持っている立地や、地盤が固い、自然が残っている、東京に便利なところ、こういうものを生かしながら新しい雇用を生んで、そして、人口を増やしていけばと思っています。

そういう中で、今回のまち・ひと・しごと創生の計画というのは、大事な計画に当たり

ます。これから白井市がどのほうに進むのか。人口が衰退していくのか、それとも、さらに人口維持、拡充するのか。大事な審議会にもなりますので、ぜひ皆さんが日頃持っている知見やお考えを聞かせていただいて、そして、この計画に生かしていきたいと思っています。

私は、このまちはまだまだ伸びる可能性がありますので、ぜひいろいろな御意見等を聞かせていただきたいと思います。

最後になりますが、皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、簡単ではございますが、私の今の白井市の現状と今後白井市がどうなるかの見通しについて、若干説明をさせていただきました。どうか委員の皆さん、よろしくをお願いします。

(3) 委員自己紹介

まち・ひと・しごと創生審議会委員から自己紹介。

3. 令和4年度第2回審議会

(1) 会長・副会長の選任について

白井市附属機関条例第3条の規定により、委員の互選により選出することと定めており、委員からの推薦により、会長は高尾公矢委員が選出された。高尾会長からの推薦により副会長は山田壽一委員が選出された。

(2) 白井市の現状について

【会長】

では、よろしいでしょうか。

それでは、議事を進行してまいります。

議題の2です。白井市の現状につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

資料2に沿って説明。

【会長】

それでは、議題2の白井市の現状の現状につきまして、事務局から説明をいただきましたけれども、御意見・御質問等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

いかがでしょうか。もし質問があったらお願いしたいと思いますが。

先ほど説明がありましたように、北総線の運賃が下がったというのは、一つ、非常にいい材料だと思いますけれども、まだ高いですよね。都内まで片道1,000円以上かかる。そうすると、往復2,000円以上かかってしまうというので、これはやっぱり大きいですよね。だから、本来なら、もっと下げてもらおうと。要するに、自然も豊かなわけだし、都会で子供

を育てるよりも、こっちに来たほうが育てやすいとかいう面があると思うので。やはり運賃の問題というのは依然として、ここへあまり入ってこないようになってきているのかなと思いますよね。

それから、いろいろなところで、先生の我孫子なんかもそうでしょうけれども、今は小学校・中学校の給食費を無料にするというようなところが出てきましたよね。それから、医療費。子供の医療費を無料にするというような。高等学校まで無料にするというようなところも出てきましたし、中学校ぐらまでは無料にするんだというところも出てきました。だから、そういうのを併せてやっていかないと、少子化は止まらないのかなという気がしますよね。

特に、保育園とか幼稚園の先ほど説明がありましたように、送迎ステーションを設けるなりして努力されていて、待機児童もそれほど多くないですし。一部ありますけれども、それほど大きな問題になっていないというのがあります。

だから、そういう面でいうと、子供たちにとっては、非常に環境が整いつつあるのかなというふうには思いますけれども。今一步、何か必要な施策を、特徴のある施策を打ち出していく必要があるのかなと思いますけれども。

あと、まち・ひと・しごと創生の関係に関わってきますけれども、インパクトがより必要かなと思います。例えば競馬学校とか、そういう特徴のある施設があるのだけれども、一般の人にあまりなじみがないですし。私の住居の近くなのですけれども、工事屋さんが来て話をしていましたら、あれは何ですかって言うので、競馬学校で、日本でここにしかないんだという話をしましたら、武豊とかああいう人も、そこから出ていったんだという話をしましたら、初めて聞いたというようなことを言う人がいますし。

だから、梨もそうなのですけれども、やっぱりPRの問題というのは大きいかなというふうには思いますけれども。

委員、いかがでしょうか。

【委員】

情報発信をいかにするか。今Y o u T u b eもあるし、いろいろな手段がありますので、それをいかに活用するのが重要な問題であると思います。

あと、ホームページも、しろいまっちも見まして、白井市、いいホームページがありますので、それをもっとみんなに見てもらわなければもったいないですので、それをいかにして見てもらうかというのを、毎月出る市報のほうでも書くとかして、情報発信をすればいいかと思います。

【事務局】

ありがとうございます。広報部門とも連携して今後進めていけたらと思いますので、よろしくお願いします。

【会長】

委員さん、何かありませんか。

【委員】

今、市内で非常に困っているというのが、バスの連絡網が脆弱であることです。工業団地に就職したくても通えない。やっと高校生が就職、企業が獲得しても、いざ通うとなるとバスがないので、断られたという事例が既に発生しています。市内のバス、ナッシー号の市営バスありますけれども、そのほかに民間バスが、どんどんコロナで撤退をしている。おとしですかね。減便をして、より市内のアクセスが悪くなっている。ですから、市内を循環できるようなバスを市として計画をして支援していただければと思います。

【会長】

ほかにありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょう。

【委員】

「しろいの教育」というところのトピックスなのですけれども。「子供の教育なら白井」というのは、対象の年齢というのが、例えば重点的に小学生とか中学生。義務教育が終わっているので、高校生はもしかすると対象ではないのかもしれないけれども。初めてこのトピックスを知ったものですので、現状と今後、どこに重点を置かれているのかなというのは一つ疑問に思いました。

白井高校のサッカー部が、退任されましたけれども本並さんがコーチをされていたときに、5年間コーチされていて、成績が急上昇したという事例があったようなのですけれども。スポーツに限らず、例えば特進クラスとか。偏差値とかも調べてみたのですけれども、真ん中より下というところがあったと思いますので。

教育というのは、勉強だけではないと思いますが、例えば、小・中、もうちょっと下の保育園とかから、市が子供に教育を施策していく中で、その巣立った子供たちが高校に行こうとなったときに、自分のレベルに合っていない高校しかなければ、他市に行くしかない。会長からもお話ありますけれども、北総線の運賃が高いので、通学定期は下がりましたけれども。そうすると、持ち家であれば通うというのはあると思うのですけれども、家賃と定期を考えたときに、じゃあ近場に。仕事も当然ありますけれども。というのも住民の子育て世代の中に出てくると思うのですね。

30代、40代の方の子育てで転入が多いと思うのですけれども、過去の議事録を読ませていただくと、大学進学や就職で他市に出ていってしまうというのがあると思いますので、そこが気になったところと。

あと、抽象的なのですけれども、ちょっとネガティブなお話をすると、白井市の車の運転は結構アグレッシブな人が多いと思います。白井市民ではない可能性が非常に高く、通り抜けている隣の鎌ヶ谷市とか印西市の方とか、松戸・柏の人もいらっしゃると思うのですけれども。16号とか464とか、その辺の道路も結構車の通りが激しいし、結構あおりもあったりはすると思います。

あと、これも過去の議事録にあったのですけれども、たばこのポイ捨て。これは以前は、条例をすれば規制をかけられるということで。今、条例調べてみたら、「みんなの協力できれいなまちに」ということで、白井市まちをきれいにする条例というのがあるということで。歩いていると、犬のふんも結構多いと思うんですよね。犬のふんがむちゃくちゃ多いなと思っていて。

何となく、古びた議論だと思うのですけれども、ニューヨークの地下鉄だと思うのですけれども、捨てられていると、みんなが捨てると。車も流れに乗らなければいけないので、みんなが速ければ自分も速くなるというところがあるのかなと思いましたので。現状というところの、この資料ではないところで、住んでみての中で、あまり客観的なデータではないかもしれませんが、そういったところも気になったところです。

すみません。ちょっと長くなりました。

【会長】

それでは、現状についてはよろしいですか。また後で出てきますので、そのときにお願いしたいと思います。

(3) まち・ひと・しごと創生法と国・市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について及び

(4) 地域再生法と地域再生制度の概要について

【会長】

では次に、議題の3、4に行きたいと思います。

まち・ひと・しごと創生法と国・市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

資料3、4に沿って説明。

【会長】

今、議題3と4、一緒に説明いただいたわけですが、御質問がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですかね。

【事務局】

概要を初めて見られた方は多分難しいかもしれませんが、あとは個別でも聞いていただければ、今日でも後日でも、それは対応させていただきます。

【会長】

まち・ひと・しごと創生法に基づく施策というのは、従来の継続だと思うのですけれども。新しいのは、地域再生法に基づく施策ですよね。これも要するに、三つ柱があって、就業の機会の創出、経済基盤の強化、生活環境の整備という。これを具体的にこの白井市に落とし込んでいくわけでしょう。こういう施策をやりますよということで、交付金が出

るという理解でよろしいですか。

【事務局】

今、会長さんがおっしゃったのは、資料4の1ページ目の左上の丸囲みの中の上から二つ目のところだと思うのですが。もちろん国の地域再生の施策がこの3本柱、市のやりたいところが、ちょうどやりたい事業がそこに合致して、なおかつ、ほかの団体の見本となるような取組であれば、認定されるということです。国の方向性と同じところはどんどん活用して、国の制度を有効に活用していきましょうということなのです。おっしゃるとおりです。

【会長】

委員さん、いかがなものでしょうね。

【委員】

今この3本柱のうち期待しているのは、全て期待していますが、就業機会の創出する。既に白井市には工業団地があって、就業の機会がありますが、人材が相当不足しています。就業の機会はあるのです。あるのだけれども、それが結びついていない最大の原因は、先ほど言ったように、アクセスが悪いことですから、生活している場と働く場のアクセスをうまくこの制度の中に取り入れていただきたいということで、大きく期待しています。

【会長】

もしそういうことが可能であれば、各就業機会、工業団地とそれから商店会と、それから農業も含めて、一緒に、人の動くような。バスであるとか、そういうものを動かして、人が動くような形で作り上げていくというのも、一つの方法ですよ。そうすると、就業機会の創出につながるし、経済基盤の強化になるわけだし、生活の環境の整備も可能になると。

だから、そういう交通網を整備することによって、つなげていくというようなやり方。そういう大きくもなく小さくもない地域ですので、うまくそれが出来上がれば、非常に画期的な形になるというふうには思いますけれどもね。

いかがでしょうか。どんな御意見がありますか。

どうぞ、御意見。

【委員】

ここで記載されているのは、何となく抽象的に書かれているものが非常に多いので。何となく感じる中では、本当に白井市の特徴を生かして、ほかにはない施策というか、アイデアを出していかないと、ほかも同じようなものを出してくると思うので、白井らしさを何か見つけたいなと思ってはいるのですけれども。すみません。まだ見つかっていなくて、大変申し訳ないのですけれども。

先ほど委員からお話があったように、工業団地を抱えておりますので、銀行の目線からすると、どうしても、出たい会社、進出したい会社はあるのですけれども、場所がないと。

あとは、値段が上がり過ぎているというところがあるので。工業団地の拡張なんかは、まだ白井市さんでも土地がまだあると思うので。あとは、そういったところから出てくれば、かつ、その新しい工業団地が、例えば駅から20分以内で歩けるとか、そういった場所であればいいのかなとは思っております。個人的な感想です。

【会長】

ほかに。何かありますでしょうか。

【委員】

私の意見としては、私どもはどちらかというところ、今回こちらに来てやってきて日が浅いのもありますし、あとはどちらかというところ、金融面での立場からの見方なので。そうしますと、先ほど委員さんの意見を聞くと、こういうところもあるんだなと知らされるところがあるので、やはり生活に密着している方の意見は、すごい貴重だなというのは感じたので、そういった意見を聞きながら、私も勉強させてもらえればなというふうに感じております。

【会長】

委員さん、お願いします。

【委員】

資料にないことなので、すぐ回答していただくことは難しいかもしれないのですが。市民の構成について、外国人就労者や外国人就学者についての記載が全くなくて、その辺がどうなっているのかというのをまず次回とかに知りたいというのと。

あと、今この国際的な世界になっていく中で、国全体としても外国人就労者が増えている、支援していくというような動きがある中で、白井市のそういった政策というのは聞いたことがないなというふうに思っています。

いずれにしても、先ほど皆様おっしゃられているように、市内で就労する、生活することになりますと、車がないと、なかなか移動が難しいというのが現状だと思います。

その点を感じました。

【会長】

それでは、次に委員さんお願いします。

【委員】

市内の就労というところでは、2人とも東京で働いていると思うのですが、賃金が東京と比較してしまうと、年収がどうしても下がってしまうというものがあっています。北総線高いけれども、通勤手当とか定期の支給があれば、逆にアクセスが日本橋までよいので、どうしても通ったほうが良いとなってしまいます。妻は千葉ニュータウンで働いていますが、片方は東京に出たほうが、世帯年収的には非常にいいなというのはあります。

あと、工業団地の件に関しましては、私は文系の事務職なので、理系の専門職のイメー

ジが強くて。求人と自分がマッチしないのではないかなというのがあるのかなというのがある。実際に東京に行くのはそろそろ嫌なのですけれども、通勤列車が嫌なのですけれども、そういう理系の専門職ではない人でも受入れがあるのかなというの、住んでいて疑問があります。

以上です。

【会長】

それでは、順番に。委員さん、お願いします。

【委員】

「就業の機会の創出」という項目が一つあるのですけれども、先ほど委員がおっしゃられたように、製造業に限らないのですけれども、人材不足というお話をたくさん聞きますので、就業の機会の創出に絡めて、そういった就業したい人と雇用したい企業とのマッチングの場というのを今後の施策の中に生かしていただければということをおっしゃっています。よろしくお願いします。

【会長】

では順番に。委員さん。

【委員】

人材不足といいますと、農業ってかなり一番直撃を受けている産業だと思いますが。こちらにあります就業の機会の創出、経済基盤の強化、生活環境の整備となりますと、白井市、土地はありますが、農地がほとんどになりますので、これから下限面積の撤廃とかもありまして、それこそ白井市の、こちら先ほどおっしゃられていました若い世代の確保などと考えると、いろいろな転用なり、都市計画の見直しなど考えられているのか。それによって、農業委員というのは、農地を守るのが仕事ということになっておりまして、農家のことは考えられていないので、ある程度バランスを取った意見の収集をされて、できれば、農業・農家・農地、全て産業と結びつけて、いい形になるような具体的な方針を示していただけると、こちらの委員としましても、ありがたいかなと思います。

以上になります。

【会長】

それでは、委員さん。

【委員】

地域再生法の2番目の就業の機会の創出、経済基盤の強化、生活環境の整備。この特に、生活環境の整備なのですが、北総線沿線に関しては、それなりの便利さはあると思うのですが、ただ、白井市の北側地域である平塚とか名内というんですか。この地域だと、高齢者がいて運転免許を返納しようと思っても、交通の便がまるっきり悪いと。そうすると、返納したいけれどもできない。先ほどの就業機会の創出の際にも言われていたように、アクセスがまるっきり悪いので、それは何とかしなければいけないというのは、直近の問題

であろうと思います。どこが運営するかというのは、市でも大いに協力をしてもらおうと、そこで新たなアクセスもできると思います。

この白井市のモットーとして、「緑豊かな生活環境」というものが書かれてあるのですが、「緑豊かな」というところが北側にあって、生活は南ですと。クロージングしていないような部分があるので、緑があって、なおかつ生活も豊かですよという部分をつくれば、それは北側であろうと南側であろうと、より多くの人たちが集まってくると思うのですが。

ですから、キャッチフレーズと実態とかがマッチングしていないような部分があるような気がするので、その辺を検討していく必要があるかと思います。

以上です。

【会長】

それぞれ御意見頂きましたけれども、この部分につきましては、特に議題3、議題4の部分につきましては、今後、具体的にこれを落とし込んでいって、そして、国からの交付金をもらって推進していくということになろうかと思うので、今後、議論を進めていくことになろうかと思います。

今日は資料に基づいて説明を受けて、概略が分かったというような程度ですけれども、今後、この資料に基づいて、さらに具体的に議論していきたいと思いますので、今日のところは、この程度で終わりたいというふうに思います。

それでは、議題5をよろしいですか。

(5) 地方創生推進交付金の活用及び今後の検証について及び

(6) 企業版ふるさと納税制度の活用及び今後の検証について

【事務局】

また引き続き、資料5と6は、市のやること、まとめて5と6通して御説明をさせていただきます。高橋から御説明いたします。

資料5、6に沿って説明。

【会長】

それでは、先ほど議題のほう、地方創生推進交付金の活用につきましては、今後検証していくので、この審議会でも御意見を頂きたいということですよ。

それから、議題の部分につきましては、企業版ふるさと納税制度の活用につきましては、同じように今後検証していくので、意見をもらいたいということです。

この二つにつきましては、今後この会議で検証していくということとなります。

(7) その他

それでは、今日は時間の関係もありますので、最後に議題の7、その他について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

資料7に沿って説明。

【会長】

今日は、委員の顔合わせと紹介と、それから資料の確認というところで終わらして、次回に審議を進めていきたいと思います。

今日は時間の関係もありますので、これで終了したいと思います。

本日の議題は全て終了いたしました。

これをもちまして、令和4年度第2回白井市まち・ひと・しごと創生審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。